

安田善次郎 （安田） 實業家。天保九年十月九日越中國生れ。大正十年九月二十八日歿（二八三—一九二）。號勤儉堂松翁、松地舎、福々子等。幕末江戸（日本橋）の兩替商を創業し、維新前後の通貨混亂期に財を成した。明治二年第三國と銀行を、十二年には安田銀行を設立。爾來多くの銀行を吸収合併、金融業中心の安田財閥を一代で築いた。社會に其專業の盡力も、國粹主義者朝日平告の刺殺せられる。

著書『克己實話』（とくじくじつご、明治四十五年）二月二十日（一松堂書店）等。

文獻、輿野實著『鴉片朝日平告』

（大正十一年一月十日神田出版

社）、後藤勲平著『東京市政調査

會寄附の關する安田勤儉翁の眞

意』（大正十一年八月前刊、無刊

記）、矢野文雄著『安田善次郎

傳』（大正十四年七月二十八日安田保善社）、寺島社史著『初代安田

善次郎』（帝國興信所日報部編、昭和十一年五月十五日帝國興信所）、

株式會社安田銀行八十周年記念專業委員會『安田銀行八十年誌』（昭

和十五年九月二十日安田銀行）、芳川越著『勤儉安田善次郎』（昭和

十八年十一月十五日先生書店）、安田学園松翁研究会編『松翁安田善

次郎』（昭和四十一年十一月九日丹治經二刊）等。

